

第2回一宮市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会

令和4年2月8日(火)10:00 開会

場所:1102 会議室

次 第

1. 開会

2. 委員紹介

3. 議事

- (1)会長、副会長の選出について
- (2)アンケート調査結果についての報告
- (3)計画書の全体像について
- (4)今後の予定について

4. 閉会

【議事資料】

- ①委員名簿
- ②アンケート調査報告書
- ③一宮市地域福祉計画・地域福祉活動計画の全体像
- ④一宮市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の関するスケジュール

議事録

出席者: 15名

欠席者: 2名

傍聴者: 0名

9:52 開会

福祉部長あいさつ

委員紹介

議事

(1) 会長、副会長の選出について

事務局 会長について、どなたかご意見ございますでしょうか。

竹内委員 名簿15番の松宮委員にお願いしたいと思います。

(拍手をもって賛同)

会長 地域福祉計画は、様々な福祉計画の上位計画に位置付けられていて、市の福祉計画にとって、重要な計画とされています。

多様な活動をされている皆様からの活発なご意見、評価などをいただき、より良い計画策定に繋げていければと思っております。

今日はどうぞよろしく願いいたします。

では、議事の進行に移らせていただきます。

副会長について、どなたかご意見ございますでしょうか。

太田委員 名簿番号8番の竹内委員にお願いしたいと思います。

(拍手をもって賛同)

(2) アンケート調査結果についての報告

事務局 (資料に基づき事務局より説明)

杉本(尚)委員 アンケート結果ではないですが、福祉総合相談室の話がありましたが、現在どのように活用されて、機能しているのかを教えてくださいませんか。

事務局 この4月に設置されて、基本的には生活困窮、障害の相談を受けていた方、精神、難病の相談を受けていた窓口が1つに集約されました。

また、高齢者の相談も受けられるようになって、1つの組織になりました。

入ってくる相談としては、高齢者の虐待で、虐待している人は障害者だったなどといった複合的な課題を抱えるものもありました。

会長 利用の状況はいかがですか。

事務局 もととの相談件数の比較はできないのですが、障害者か相談支援センターや地域相談支援センターなどから相談を受けたりしていて、関係者を經由して相談を受けるケースがあります。

鵜飼委員 町会長の立場として発言させていただきます。

町内会は相当疲弊しております。地域福祉に関しては、町内会を別に考えていただきました

い。防災関係も今までですと町会長に丸投げです。

町内会をどのように位置づけていくのが課題ですので、丸投げされるのは非常に困る。

会員の皆さんの認知度が非常に低いと感じています。

防災でも、防災倉庫に備蓄していますが、やってみて初めて防災の意識がされたように思いました。

町内会の年齢構成も調べましたが、5年後には間違いなく6割以上が高齢者になります。町内会は法人化などの独立専門した組織にしていかなければ継続が難しいと思います。

繰り返しになりますが、町内会に丸投げすることはやめていただきたい。

会長

今の考えに対して、何か事務局からありますか。

事務局

貴重な意見だと思いますが、市の職員だけですべてを実行することはできないところがありますので、町内会の方にもご助力をいただければと思います。

会長

一宮市の町内会の加入率はわかりますか。

事務局

手元に資料が無いのでわかりかねます。

データを取っていないので、お示しするのは難しいと思います。

会長

長久手市は加入率が非常に低いエリアだったり、データがあったりしますので、可能な範囲で結構ですが、実態を調べていただければと思います。

井上委員

アンケートの結果を聞いた中で、鶯飼委員のご意見をお聞きして感じたのですが、近隣との関係が重要ですという一方で、近隣の関係が希薄になっている点について、行政としてどのようにとらえているのか。

ギャップは何なんだろうという分析はされていますか？

事務局

負担感という部分で、理想と現実のギャップが出てきてしまっていると考えています。

井上委員

アンケートを取って歪みをなくすのが目的で、そこを計画で歪みをなくしていくのが行政の役割だと思います。

これは、例えば環境の問題、ごみの収集の問題。

町内会が掃除をしてゴミ収集所をきれいにしているが、町内会に加入していない方も利用して、そうした方がマナー悪く使ってしまうことで、大きな負担になってしまっています。

そしたときに役所に相談しても、町内会に加入するのは個人の自由ですよ。と回答されるわけです。

こうした計画を立てる上で、矛盾していませんか？

町内会があるから行政サービスが回っている部分があるから、そうしたところをきちんと分析をして、手を差し伸べていけないといけないと思います。

会長

実態として、どのような場所が加入していないかという点をしっかり把握して、漠然として捉えるのではなくて、ターゲットを絞るなどして、加入促進を実施していくことが重要だと思います。

鶯飼委員

意見ですが、これから市役所や社協などが関わってくるとありますが、町内会の位置づけを慎重に検討していただきたいと思っています。

丹菊委員

アンケート調査ということで、非常に細かく説明を受けたのですが、回収率は半分以下で、こうしたことに関心が無いのかなと感じました。

そうした点で、関心を高めていかなければならなく、改めて今後に期待かなと思えました。

アンケートの内容は非常に統計的に分析されましたが、気になったのが自由回答です。自由回答を書いてくれるのは、積極的な方だと思います。

市や社協が地域に直接入ってほしいという前向きのご意見も見られています。

確か、高齢者介護のアンケートだったと思いますが、

アンケートで見えてきたら面白いなという、検討の余地もあるかなと思えました。

議事に入る前に確認したかったのですが、委嘱状でいただいたのは地域福祉計画の題でいただいたのですが、本日の資料のタイトルを見ますと地域福祉計画・地域福祉活動計画とありました。活動計画も別途作るのか、この点はまずはっきりしていただければと思いますので、お願いいたします。

事務局

今回は両計画を一体的に作ります。

丹菊委員

この会が終わった段階で、両計画ができるということでよいのでしょうか？

事務局

その通りです。

会長

回答率についてもありましたが、やはり若い方の回答率が低いということがみられたかと思えます。

地域ごとの課題などもできる限り検討していくということになるかと思えます。

私からも2点ほどありまして、今後どの指標を上げていくか、改善していく点などを検討してくださいとよいかと思えます。

課題として低い数値を上げていくことを考えていくことを見えるような形でここから確認のためのデータは使っていただければと思います。

また、逆に一宮の強みや頑張られてきたことなど、他の市町からすると、強みになるものもあるかと思えます。

滋賀県長浜で計画を作っていますが、喫茶店文化があるのは非常に良い文化だなといわれています。

そうした課題や強みなどを生かすような計画を作っていただければと思います。

森委員

全般なことですが、抽象的なことが多く、ポイントがイマイチ見づらいように感じました。ポイントを絞って進行くださるとよいかと思えます。

また、町会長さんからのご意見がありましたが、私の町内では100%です。

マンションなどによっては、業者によって強制的に加入するようになるところもあります。

防災については、また別に防災会議などがありますので、そちらでご議論を深めていただければと思います。

会長

ご指摘くださいました通り、参加の促進や認知度を高めるなどという抽象的な内容が多かったと思えます。

内実を伴った計画策定を勧められればと思います。

杉山委員

福祉というのは幅が広くて、いろんなことが関わってくると思えます。

一般市民の回答者を見ていると、高齢者が多く回答されていて、そのうち75歳以上の方が多く回答されています。

福祉を担い、恩恵を多く受けているのは高齢者だと思います。

この10年で、老人クラブの加入者も大きく減ってきています。

こうした中で、福祉計画がどこを目指さなければいけないかと考えると、独居高齢者や高齢者のみ世帯への支援、どのようなケアの仕組みを作るか。

福祉の問題は避けては通れないので、是が非でも高齢者が安心して生活することができるまちをつくっていきたいと思っています。老人クラブも市に協力してまいります。

高齢者の気持ちに寄り添う形で計画を作っていたいただきたいと思います。

(3) 計画書の全体像について

事務局 (資料に基づき事務局より説明)

会長 第2章のアンケート調査の課題についてですが、先ほどいただいた委員の皆さんのご意見も踏まえていただければと思います。

アンケートでもありましたが、コロナ禍についての課題なども掲載してみたいかなと思いました。

ワクチンでもありましたが、IOTでは使えないなどの格差も見られましたし、対面でなければニーズが満たされないということがありましたので、そうしたところはしっかりと考えていただければと思います。

丹菊委員 一宮市独自の計画というのが重要になるかと思っています。

地域課題をきちんと拾い上げていくことが必要だと思しますので、よろしく願いいたします。

会長 地域福祉計画の計画策定で必須とされているのは、住民の皆さんの参加ですね。

ガイドラインについては、そうした点で抽象的ではありますが必須の項目などがあります。

具体的には、どのような事業を進めていくのかなどは、独自の地域特性や課題を踏まえて策定を進めていただければと思います。

また、豊田市の資料でもありますが、独自の取組など、一宮市でこれまでされてきたことなどを入れていただくと、地域性や独自性等も見えてくるのかなと思います。

丹菊委員 参考にまた見させていただきたいと思っています。

国が包括ケアシステムを推進していますが、今日は包括支援センターの方がいらっしゃるのですが、地域の方のことを考えて一生懸命取り組んでいただいていますので、そうした取組も入れていただければと思います。

会長 豊田市の計画を見ていただくと、地域の取組などの掲載がありますが、そうしたところに一宮独自の取組を掲載していただいても良いのかなと思います。

現段階で、委員の皆様の方で何かありますか？

井上委員 地域づくり協議会が各連区であって、それぞれ資金をお渡しして、地域課題に対応していただいているという取り組みをしています。これは一宮市独自かなと思います。

防災訓練などについても、参加して満足というのではなく、しっかりと考えて実行をしています。そうしたことを掲載していてもいいのかなと思いました。

(4) 今後の予定について

事務局 (資料に基づき事務局より説明)

鶺鴒委員 ワークショップと地区別懇談会が開催予定とされていますが、どのような手法で募集を掛けるのでしょうか？

私自身関心がありますので、委員も参加することは可能でしょうか？

事務局

当初ですと、たくさんの方をお呼びして開催したいと考えていましたが、コロナの状況を踏まえると、人数を絞った状態で開催になるかと考えています。

詳細が決まり次第ご案内しますが、オブザーバーとして参加していただくことは可能です。

当初、広報誌での案内も考えていましたが、参加者数などから考えましても、なかなか難しいのではないかな？と考えています。

会長

全体を通して、何かご質問がありましたら、お願いいたします。

太田委員

民協で活動させていただいております。

コロナ禍で活動が自由にならないという問題を抱えています。インターフォン越しや電話でご連絡しても、それでもなかなかご回答が得られない。

要支援者名簿をいただきますが、このご時世でなかなか網羅できていません。

平常から要支援者の方には何かありましたらご連絡くださいとお願いしていますが、それすら前進しない状況です。

その点含めて計画を策定していただければと思います。

なお、(大和町では)33 町内のうち 31 の町内でふれあいサロンを開催していましたが、半分くらい開催できない状態になっています。

会長

コロナを踏まえた地域福祉の在り方かと思っておりますので、ご留意いただいて、策定いただければと思います。

11:29 閉会